

2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任	
外国語	英語会話	2	3年次		石橋 拓	
使用教科書	なし		使用副教材	Talk a Lot Book 1 (EFL Press)他 オリジナル教材		
科目の目標				道徳教育のねらい		
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う。				異なる文化を理解し尊重する態度を育てる。		
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）				
		1 主体的学習力	2 基礎力	3 思考・分析力	4 発信・表現力	5 自他認知・協働力
1	Warm up Activity	○	○	◎	◎	◎
2	Vocaburaly&Expression	○	◎		○	
3	Tasks in pair	○	○	◎	◎	◎
4	Tasks in group	○	○	◎	◎	◎
5	Performance Test	○	○	◎	◎	◎
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	[知識] 学習した言語材料の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援のもと文章等を聞く、読む、書く、または話す技能を身に付けている。(20%程度)		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、一定の支援のもと、日常的または社会的な話題について聞く、読む、書く、または話すことができている。 (40%程度)		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に聞く、読む、書く、または話そうとしている。 (40%程度)	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。					
		Warm up Activity	Vocaburaly&Expression	Tasks in pair	Tasks in group	Performance Test
	知識・技能		○	○	○	○
	思考・判断・表現			○	○	○
主体的に学習に取り組む態度	○		○	○	○	

英会話 授業計画

		授 業 計 画			実 施 状 況	
	月 (時)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 (4)	自己表現と他者理解	自分自身について表現する 他者の表現を理解する 他者の表現を引き出す	自己紹介活動 他者理解のための質問 (自己紹介ポスター作成)		
	5月 (8)	Show and tell				
	6月 (7)	習慣や予定の表現	自己の習慣的な行動を表現する 他の国の習慣、文化などについて調べ発表する。	週末や自由な時間の過ごし方を話す 長期休暇の予定について話す。 他国のリサーチとプレゼンテーション準備。		
	7月 (4)	Country Project				
	8月 (3)	夏休みの課題成果の発表	自分の課題について説明することができる	プレゼンテーション		
	9月 (7)	Newsの読解とディスカッション	社会的な話題について読解し、意見交流をする	身近な社会的なテーマに沿って理解を深め話し合いをする		
後 期	10月 (8)	Newsの読解とプレゼンテーション	社会的な話題について読解し、プレゼンする	身近な社会的なテーマに沿って理解を深めプレゼンをする。		
	11月 (10)	経験を語る	実際の出来事や経験をもとに市函での学びを語る	3年間を振り返り、様々な学びを表現する(プレゼン資料の作成)		
	12月 (3)					
	1月 (4)					
	2月 (5)	※毎時間英会話を基本として、上記の活動も行いません。全体の進捗状況などで計画の変更もありえます				
	3月 (3)					